

スタイロフォーム™

スピードタック

100年の安心に、こたえる

KIRII

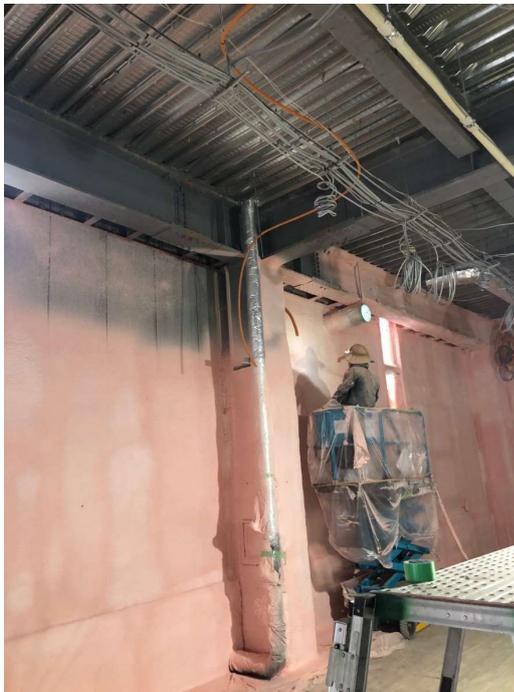
プレカット内断熱後張り工法 (特許出願中)

「ウレタンショック」による 工期遅延・価格高騰 にお困りのゼネコン様へ 朗報 です！！

これを機会に **新材料** を用いた **新工法** への切り替えを検討されてはいかがでしょうか？

--- スピードタック工法 とは？

- **スタイロフォーム™** と弾性接着剤を使用した **後張り断熱工法** です。
- 吹付けウレタン (A種1H) と **同じ熱伝導率** の新グレードを使用するため、同じ厚みで代替が可能です。
- **自己消化性**を持つスタイロフォームは吹付けウレタンに比べ火災事故発生リスクを大幅に低減できます。
(過去60年間、スタイロフォームの火災発生例はゼロ！)



吹付けウレタン (A種1H)

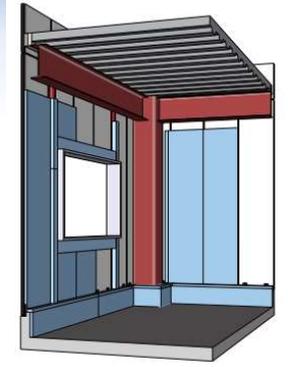


スピードタック

詳しくは (株)桐井製作所 まで なんでもご相談ください！！

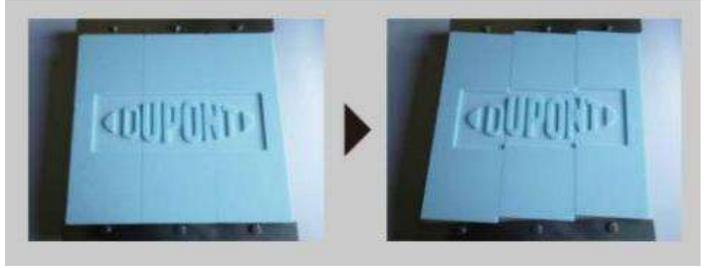
“スタイロフォーム”は
断熱性に優れた商品！

スピードタック工法 のメリット



メリット ① 耐震性に優れた断熱構造

外壁材（ECP・ALC等）の幅（600mm）に合わせた「スタイロフォームST」の採用により
外壁のロッキングを阻害しない 優れた断熱構造となり
地震の多発する日本には最適な断熱構造です。



外壁幅600に合わせたスタイロ幅の採用

メリット ② 安定供給/コスト

HFOガス不足に端を発した“ウレタンショック”による
原材料の高騰から吹付けウレタン工事は大幅な
コストアップにさらされています。

これに対し本製品は、現時点で供給・価格ともに安定
していることや、JIS製品のため断熱性能も担保される
ことから、現場でのコスト管理において大きな価格競争力
を発揮します。

* 2022年3月現在

断熱工法	スピードタック	吹付けウレタン A種1H	吹付けウレタン + 防火コート	不燃ウレタン
コスト	100	85	120	160
価格動向	→	→	→	→

- ・本工法であれば、従来の吹付けウレタンから厚みを変えずに設計通りの厚みで置き換えが可能です。
- ・2022年3月よりウレタン原液が50%～100%値上がる見通しの為、本工法の価格優位性が見込まれます。

メリット ③ スピード施工/工期短縮

各種役物の充実とプレカット率80%以上によるスピード施工の実現と相番作業が可能な事から工期短縮が可能です。
また専門性を必要とせず、多能工化も容易ですので、内装工事業者様が参入しやすい工法です。

メリット ④ 改正建築物省エネ法による新たに創出された断熱市場

令和3年4月1日以降の建築確認申請分より新たな
省エネ基準が施行されました。

オフィスビルに関しては適合義務制度の対象が
300㎡以上の中規模建築物まで拡大されています。
2025年にはさらなる新基準の制定も計画されており
今後ますますの断熱市場拡大が見込まれます。

	建築物	住宅
大規模 (2,000㎡以上)	① 適合義務制度の 対象を拡大 【中規模建築物を新たに追加】	⑤ 届出義務制度の 審査手続き合理化
中規模 (300㎡以上 2,000㎡未満)		
小規模 (300㎡未満)	③ 建築士から建築主への説明義務制度を創設	
住宅 トプランナー制度		④ 住宅トプランナー制度 [®] の 対象を拡大 【注文戸建・賃貸アパートを新たに追加】

※住宅を大量に供給する大手住宅事業者を対象に、目標年度を示した上で、トプランナー基準（省エネ基準を上回る基準）の達成を誘導する制度

■ お問い合わせは こちらまで

100年の安心に、こたえる
KIRII

株式会社桐井製作所
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F (TEL : 03-3539-6000)

デュポン[®]、デュポンオーバルマーク、並びにTM、SM、及びR表示のあるすべての標章は、
米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。